

主な水道関連の事故事例等について

(資料7-4)

平成24年1月～12月

管路事故による断水・漏水関係(報告総数64件)

| 事業者名 | 都道府県 | 種別 | 発生日時 | 事故施設 | 事故概要 | 事故原因 |
|-----------|------|-------------|----------------------------|---|---|--|
| 北九州市水道事業 | 福岡県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年5月19日(土) 6時30分頃 | 配水管φ350mm、昭和39年布設鑄鉄管 | 漏水事故による断水 断水3,000戸 | 老朽管の継ぎ手部からの漏水 |
| 大田市水道事業 | 島根県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年5月24日 11:30ごろ | 昭和30年代に布設 石綿セメント管 口径200mm | 県道歩道下の水道管が破損し流出、送水不能となり断水が発生した。 配水系統を切替、約140戸が断水 | 石綿セメント管の老朽化による破損と考えられる |
| 長崎市水道事業 | 長崎県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年5月31日 午前05時30分頃 | 昭和42年布設 鑄鉄管 口径400mm | 市道地下1.0mに埋設してある配水管から漏水し道路上に吹上げたもの。 断水3,000戸 | 配水管の自然破損によるもの |
| 唐津市水道事業 | 佐賀県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年7月21日 14時20分(濁水連絡) | 配水管、昭和43年布設、硬質塩化ビニル管、口径φ150mm、土被り1.8m | 7月21日11時45分頃、上記箇所の市道上で漏水事故発生。その後、管内流速の変化(ウォーターハンマー)により、配水管路沿線で広域にわたり濁水(赤水)が発生したものの。 濁水6,200戸 | 老朽化による配水管の自然破裂 |
| 堺市水道事業 | 大阪府 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年7月23日 午前2時30分 | 昭和46年布設 ダクタイル鑄鉄管 口径φ800 | 老朽化に伴う配水管の破損事故 断水33,000戸 | 土壌による腐食 |
| 横浜市水道事業 | 神奈川県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年8月24日 (金) 10時15分頃 | 口径150mm配水管 (布設年:昭和50年度 布設深度:1.3m 管種:DIP) | 配水管新設工事に伴う切替え工事において断水発生 断水150戸 | 分水バンドの不良による止水不能 |
| 横浜市水道事業 | 神奈川県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年10月6日 (土) 14時30分頃 | 口径100mm配水管 (布設年:昭和44年度 布設深度:---m 管種:DIP) | 自然漏水 断水200戸 | 消火栓フランジ部分のボルト劣化による漏水 |
| かつらぎ町水道事業 | 和歌山県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年10月11日 10時40分 | 送水管 昭和56年布設 400mmダクタイル管 | 京奈和自動車道にかかる矢板打込み作業中に送水管を破損 濁水3,400戸 | 掘削作業中の重機が地中の送水管を損傷(詳細は調査) |
| 島田市水道事業 | 静岡県 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年11月27日 8時25分 | 配水本管(ダクタイル鑄鉄管φ350mm)昭和45年布設 | 島田市発注の雨水の排水路(ボックスカルバート)改修工事において既設水路を重機で撤去中、水路下に伏せ越しされていた配水本管口径350mmに2箇所穴をあけてしまった。 濁水3,500戸 | 事前に試掘調査等地下埋設物の確認を行っていたが、作業員の不注意によって重機運転中に誤って水道管を破損したと思われる。詳しい原因は現在調査中。 |

| | | | | | | |
|---------|-----|-------------|-----------------------|-----------------|---|---|
| 豊中市水道事業 | 大阪府 | 水道施設の事故(管路) | 平成24年12月11日 10時20分 | 配水系統幹線(口径900ミリ) | 配水系統幹線工事の施工にあたり、仕切弁操作を誤り、一時的に断水となった。その後、断水による影響で市内南部に濁り水が発生した。 断水55,000戸 | 工事の施工にあたり、仕切弁(口径450ミリ)の操作を行う際、誤って他の仕切弁(口径900ミリ)を全閉にしたため |
|---------|-----|-------------|-----------------------|-----------------|---|---|

施設事故による断水・漏水関係(報告総数6件)

| 事業者名 | 都道府県 | 種別 | 発生日時 | 事故施設 | 事故概要 | 事故原因 |
|---------|------|-------------|----------------------------|---------------------------------|--|---|
| 本巢市水道事業 | 岐阜県 | 水道施設の事故(施設) | 平成24年7月22日 7時10分頃 | 送水ポンプ | 糸貫浄水場機械設備故障により送水ポンプが停止し、本巢市糸貫地域北部にて約1時間、約1,000戸が断水した | システム障害 |
| 五泉市水道事業 | 新潟県 | 水道施設の事故(施設) | 平成24年8月3日(金) 5時00分頃 | | 浄水池清掃工事の遅れにより配水池水位が低下し、断減水発生 断水5,418戸 | 浄水池清掃工事の遅れ |
| 亀岡市水道事業 | 京都府 | 水道施設の事故(施設) | 平成24年8月21日 (火) 午前6時20分頃 | 亀岡市上水道 第2浄水場(千代川浄水場)系統 大井減圧所 | ○減圧弁の異常作動発生 ○故障時の弁制御の状態から、シーケンサプログラム回路の暴走と判断 ○故障した減圧弁の制御は、シーケンサが故障した場合、本体のバルブ専用コントローラ(マルティ)のみで、制御可能できるシステムであったことから、この専用コントローラのみで再び自動運転に切り替えて、正常に作動することを確認した ○断水の通報が市役所に入り、減圧弁が正常に作動していないことが判明し、職員が再度、シーケンサ制御に切替えて、バルブ開度を手動操作によって通水を行った ○減圧区域7,500戸 | シーケンサプログラム回路の暴走が原因。直ちに製造メーカーによるバックアップの専用コントローラに切替えて自動運転したが、再び故障した(製造メーカーで原因究明中) |

給水装置関係(報告総数2件)

| 事業者名 | 都道府県 | 種別 | 発生日時 | 事故施設 | 事故概要 | 事故原因 |
|--------------------|------|---------|-------------|-------------|---|------|
| 佐伯市蒲江下入津 簡易水道事業 | 大分県 | 給水装置の事故 | 平成24年10月18日 | 給水管(需要者の施設) | 10月18日、需要者(1戸4名)から水が濁っているとの苦情を受け、調査を行った結果、10月19日に給水管が配水管と並行して埋設されている導水管に誤接合されていることが判明 同日、誤接合配管の切り離し、配水管への接合工事を実施。原因を完全解消 需要者には健康診断を受けてもらい健康被害がないことを確認 | 誤接合 |
| 深谷市 | 埼玉県 | 給水装置の事故 | 平成24年11月20日 | 給水管(需要者の施設) | 11月20日、需要者(1戸4名)から水の出が悪いという苦情を受け、11月21日に調査を行った結果、給水管が配水管と並行して埋設されている農業用水管に誤接合されていることが判明 11月22日に誤接合配管の切り離し、配水管への接合工事を実施。原因を完全解消 需要者には健康診断を受けてもらい健康被害がないことを確認 | 誤接合 |

水質関係(報告総数19件)

| 事業者名 | 都道府県 | 種別 | 発生日時 | 施設概要 | 事故概要 | 事故原因 |
|------------|------|-------|-------------|--------|---|--|
| 沼津市専用水道 | 静岡県 | 水質の事故 | 平成24年3月2日 | 塩素消毒のみ | トリクロロエチレンの環境基準(0.03 mg/L)を超過しているため、沼津市公害担当部局とともに対応している。高尾園の周辺地域は沼津市上水道の給水対象区域外となっているため、沼津市水道部には情報提供を行い、緊急時の対応や給水対象地域拡張についての協力を働きかけている。 0.12mg/Lが検出された2箇所については飲用として使用しないよう指導。 健康被害の報告なし。 | 不明 |
| 新温泉町中央簡易水道 | 兵庫県 | 水質の事故 | 平成24年3月5日 | 塩素消毒のみ | 温泉中央簡易水道の濁りが水質基準を大幅に上回ったため、飲用停止措置を取った。飲用制限影響14集落、約720戸、約2,240人 なお、健康被害は発生していない。 | 昭和48～49年頃施工の集水桝(コンクリート造)の蓋の一部が破損しており、そこから地表水の混入が疑われている |
| 埼玉県企業局 | 埼玉県 | 水質の事故 | 平成24年5月17日 | 急速ろ過 | 定期的な検査において、高濃度のホルムアルデヒドが検出された。原因は原水(利根川)中のホルムアルデヒド前駆物質であると考えられ、1都4県の8浄水場で取水停止、給水停止等、千葉県内の5市で断水となった。健康被害はなし。事故後、高崎市の産業廃棄物処理業者の施設からの高濃度のヘキサメチレンテトラミンを含む排水が原因であったとほぼ断定されている。 | 原因者がヘキサメチレンテトラミンを河川に流出させたため |
| 入善町新屋簡易水道 | 富山県 | 水質の事故 | 平成24年7月14日 | 塩素消毒のみ | 入善町の3名がエルシニア腸炎を発症。患者宅の遊離残留塩素が0mg/Lであり、塩素滅菌機が稼働していなかった。滅菌機復旧後は新たな事例は出ていない。 | 塩素滅菌機の稼働が止まっていたため |
| 瑞浪市上水道 | 岐阜県 | 水質の事故 | 平成24年9月3日 | 受水槽 | 給食センターの給水栓から金属箔及びゴム片を確認。当日の給食を水を使わないものに変更。 | 不明(蛇口近くのクロムメッキのはがれ落ち、ゴムパッキンと劣化と推定) |
| 津軽広域水道企業団 | 青森県 | 水質の事故 | 平成24年9月23日 | 急速ろ過 | 2-MIBの濃度が上昇し、臭気の苦情が相次いだ。粉末活性炭注入を行うが、影響は長期にわたり、10月14日に収束宣言。供給停止は行わなかった。 | 水源の藻類が原因 |
| 甘楽町 | 群馬県 | 水質の事故 | 平成24年10月10日 | 急速ろ過 | 凝集剤を浄水場で大量投入し、洗濯物が黄ばむなどの被害が出た。消火栓から濁水抜きを対応。 | 操作ミス |
| 花巻市水道事業 | 岩手県 | 水質の事故 | 平成24年10月11日 | 緩速ろ過 | 滝名川で100匹の魚が死んでいた。アルカリ排水が流入した可能性が高く、取水を4日間停止した。 | 生コン工場からのアルカリ排水 |
| 牛久市賃貸住宅 | 茨城県 | 水質の事故 | 平成24年11月15日 | 塩素消毒のみ | 六価クロム4.7mg/Lを検出。健康影響はないが、翌日から飲用指導を開始。 | メッキ工場等が考えられる |